

高取町の教育

令和4年度全国学力・学習状況調査結果から見える高取町の子ども

1 調査の概要について

○ 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○ 実施日：令和4年4月19日（火）

○ 調査対象とする児童生徒：小学校第6学年（56名<内1名未実施>）、中学校第3学年（52名）

○ 調査事項及び手法

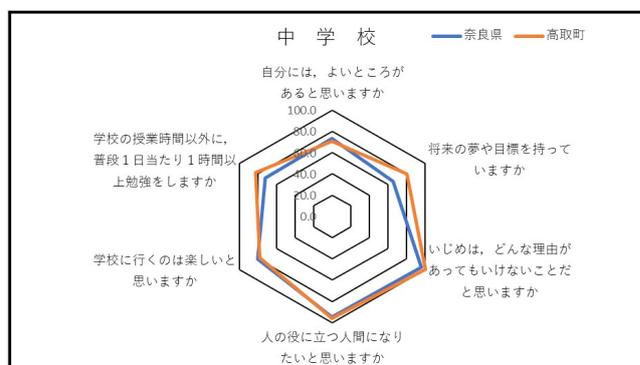
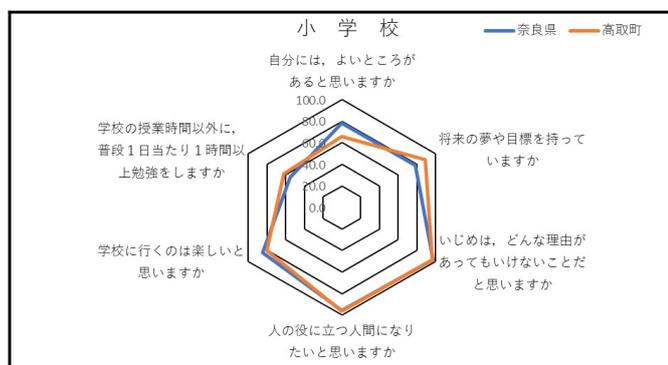
- ・ 質問紙調査：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。
- ・ 教科に対する調査〔国語、算数・数学、理科〕

○ グラフの見方

- ・ グラフの数値は素点（テストの点数）ではなく、正答率（最高100%）です。
- 赤のグラフが青のグラフより大きい ⇒ 高取町の成績が県平均を上回っている。
- 赤のグラフが青のグラフより小さい ⇒ 高取町の成績が県平均を下回っている。

2 調査結果について

○ 生活習慣や学習環境等に関する調査（抜粋）



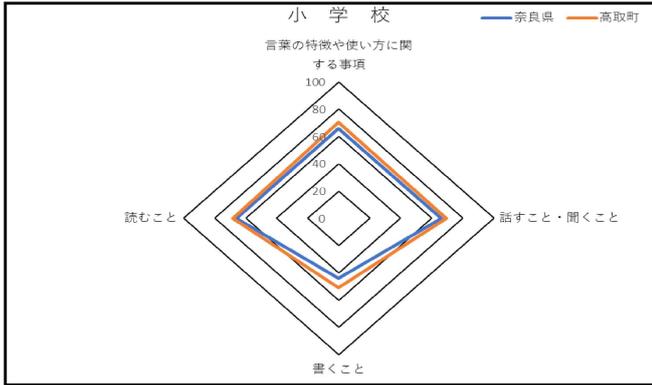
本町の児童・生徒のすがた

◇小学校は、「将来の夢や目標を持っていますか」という項目については、県平均を大きく上回っていますが、「自分には、よいところがあると思いますか」という項目については、県平均を下回っています。未来に向かって豊かな心で前向きに日々過ごしている一方で、他人との比較によって自分を捉えてしまっているのか、より高みを目指そうとするが故に自分自身のことを正確に見つめることができないのか、ありのままの自分を見失い自信のない様子が窺えます。

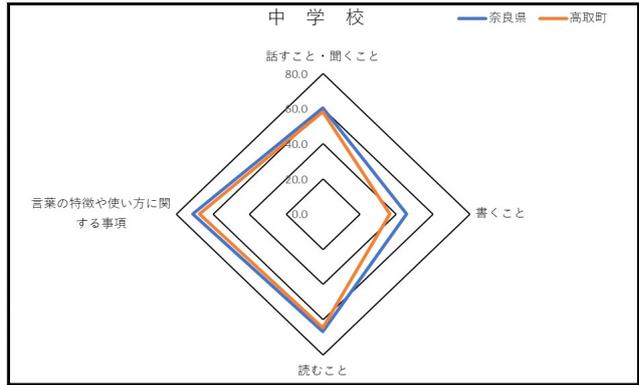
◇中学校は、「将来の夢や目標を持っているか。」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか。」「人の役に立つ人間になりたいか。」の項目については県平均を上回っています。上記の結果から自分自身の将来についての明確な目標を持ち、善悪の判断がきちんとできる生徒像が窺えます。

○ 学力に関する調査（抜粋）

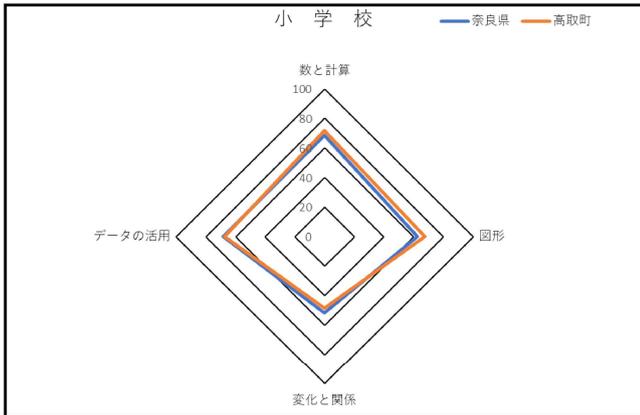
国語



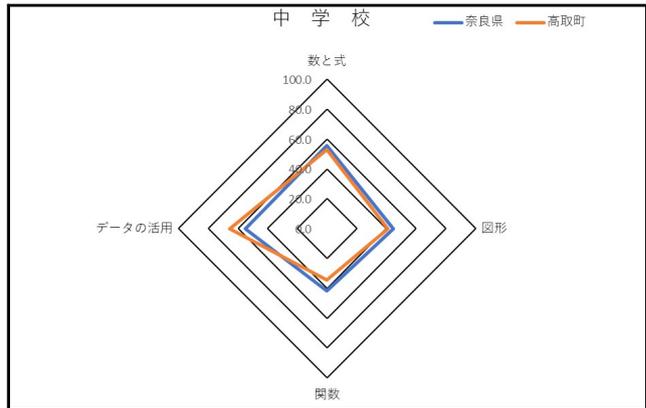
国語



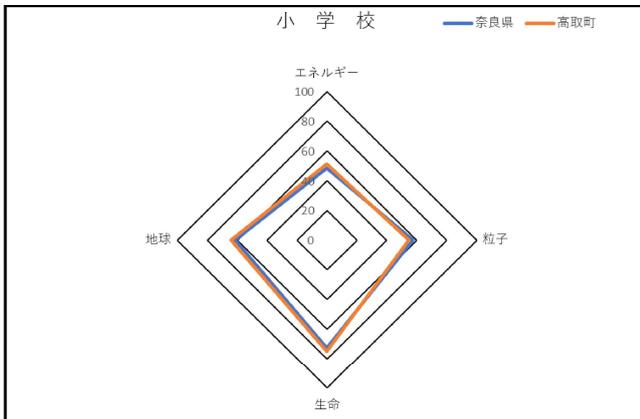
算数



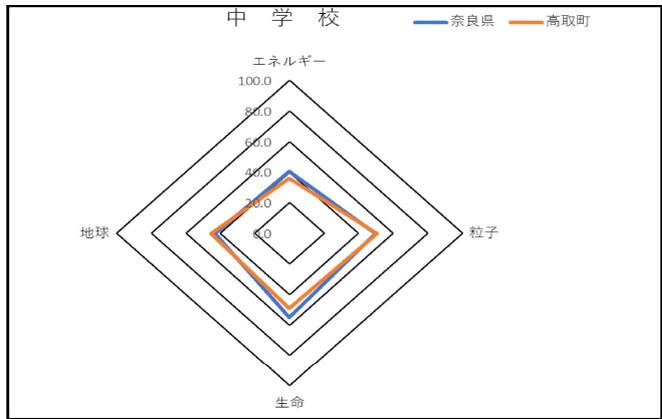
数学



理科



理科



本町の児童・生徒のすがた(学力)

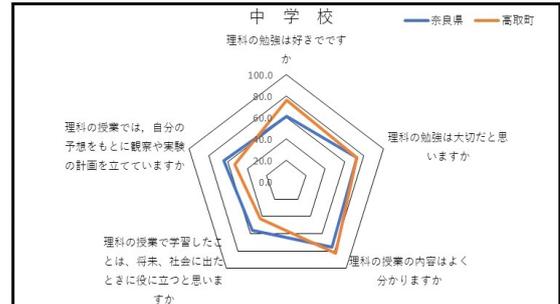
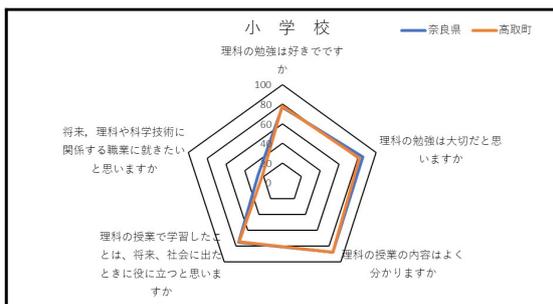
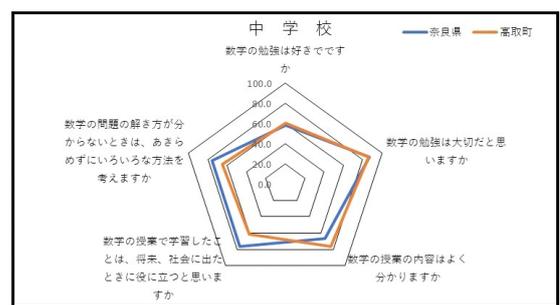
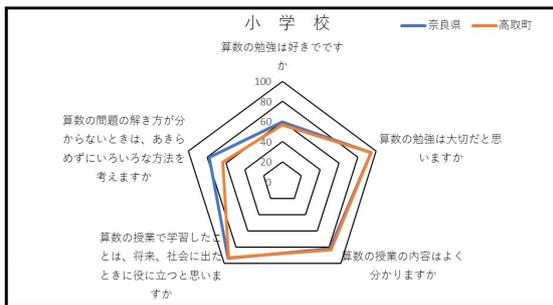
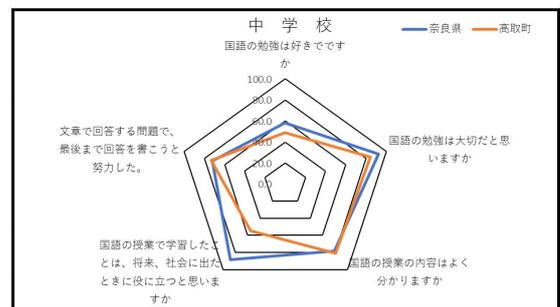
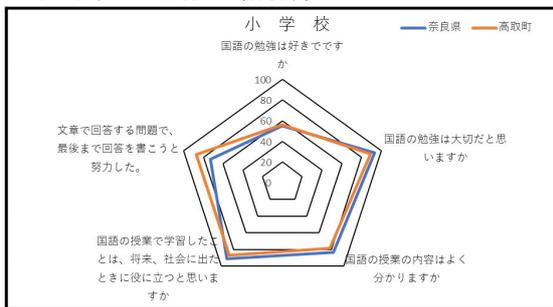
- ◇小学校の国語は、4領域全てにおいて県平均を上回っています。
- ◇小学校の算数は、「数と計算」「図形」においては県平均を上回っていますが、「変化と関係」「データの活用」においては県平均を下回っています。
- ◇小学校の理科は、「粒子」においては県平均を下回っていますが、それ以外の3領域においては県平均を上回っています。
- ◇中学校の国語は、全般的に県平均を下回っています。特に「書くこと」に課題が見られます。
- ◇中学校の数学は、全般的に県平均を下回っています。「データの活用」は県平均を上回っているものの、その他の分野は県平均を下回っている現状です。特に「関数」に課題が見られます。
- ◇中学校の理科は、「粒子」、「生命」の分野は県平均を上回っているものの、「エネルギー」、「地球」の分野は県平均を下回っています。

3 課題に対する改善方法

小学校は、落ち着いた雰囲気ですぐに学習に取り組んでいます。しかし、単に学習内容を教え込むのではなく、子どもたち自身が学ぶ喜びを味わいながら、「勉強はよりよく生きていくためにとっても大切なことである」と認識するよう、日々の学習を進めていく必要があります。より生きた学びにするためにも、ICT機器を活用して理解したような気にさせるのではなく、子どもたちが学習内容を「より実感できる」「より体感できる」体験や経験を通して学ぶ重要性を意識しながら、カリキュラムや授業内容を構築していくことが大切であると考えます。

中学校は、国語の結果から資料を読んでわかったことを使って、自身が文章を作ることへの課題があることがわかりました。そこで、授業の中で文書を読解したうえで自分の考えをまとめ、生徒の文章力を高める取り組みを行っています。数学においてはグラフの読み取り、作業に課題があることがわかりました。数学の授業を中心に基礎的内容の復習を行っています。理科においても数学と同様、グラフの読み取りに課題があることがわかりました。理科の授業を中心にグラフの読み取り等の復習を行っています。

●学習状況に関する調査（抜粋）



小学校は、「勉強は好きですか」の項目において国語と理科については県平均を上回っています。また、算数については「授業の内容はよく分かりますか」の項目は県平均を上回っています。しかし、それ以外の項目は全て県平均を下回る結果となっています。子どもたちは勉強の面白さを感じてはいるものの、学習そのものが自分のためになっているということに強く結びついていないと考えられます。

中学校は全般的に県平均を下回っている項目が多いです。各教科の授業はもとより、その他の学活、総合的な学習の時間等を通じて、生徒に学びへの意欲を高める取り組みを行っています。

○ 高取町の児童生徒の学習と生活の充実のために

今回の学力学習状況調査の結果を踏まえ、これからの時代に求められる資質能力を身につけ能動的に学び続ける高取町の子どもたちの育成のため、学習と生活の充実を図り、以下の点に重点を置きこれまで以上に取組を進めます。

- ◇ 基礎的・基本的な学習内容を確実なものとし、思考力・判断力・表現力を高める指導の推進
 - (1) 小中の連携をより推進し、子どもたちの課題を共有した一貫した取組
 - (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 - (3) ICTをより効果的に活用した個別学習と協同学習の実践
 - (4) 読書の楽しみを知らせ、読書の質を高めていくための読書活動の充実
- ◇ 子どもたちの自尊感情（自己肯定感、自己有用感）を育てる取組の推進
 - (1) 個に応じた学びの展開と「わかる授業」づくり
 - (2) 自信や達成感を持たせるために、道徳教育や特別活動などの取組の充実
 - (3) 将来展望をもち自立に向けたキャリア教育の推進
- ◇ 子どもたちの生活習慣を見直し、家庭学習や読書週間の定着を図るために家庭との連携を推進
 - (1) 基本的な生活習慣や生活リズムの確立の大切さの啓発
 - (2) 「家庭学習の手引」等を活用した家庭学習や自主的・計画的な学習の意識付け
 - (3) テレビ、ゲーム、スマートフォンなどの使い方などの家庭のルールづくりの啓発